

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年6月7日(土) 南日本新聞

令和7年6月7日(土)付南日本新聞13面に福祉科による授業交流についての記事が掲載されましたので、紹介します。

児童と高校生が 福祉授業で交流

さつま

さつま町の薩摩中央高校福祉科の1年生9人が4日、町内の山崎小学校を訪れ、3、4年生15人と福祉について理解を深める授業で交流した。児童は高校生の助言を受けながらアイマスクをして点字ブロックを歩く体験などをし、思いやりや助け合いの心を育んだ。

町内の小学校と高校が連携を深める交流授業の一環。児童は高校生から簡単な手話を教わったり、視界

が狭くなるゴーグルを付けて廊下を歩いたりし、高齢者や障害者との接し方を学んだ。障害者スポーツとして考案された「ボッチャ」も楽しんだ。

4年の大園綾美さんは「杖を使っている目の不自由な方には、前から声を掛

けるのがいいとアドバイスをもらった。実践したい」と話した。
(山田天真)

